

量子科学技術研究開発機構(QST)に係る令和2年度予算案について

令和2年1月22日

量子研究推進室

令和2年度政府予算案における、QSTに関係する項目は以下のとおり。

※国費ベース。括弧内は令和元年度予算。

運営費交付金(一般会計+復興特別会計) 219億円(219億円)

<主要な取組の例>

○量子生命科学研究拠点によるイノベーションの加速

量子生命科学について、QSTが有する研究開発基盤を強化し、量子生命科学に関するオープンプラットフォーム型の量子技術イノベーション拠点を形成し、国内外の大学・研究機関・企業等と連携して基礎研究から技術実証、オープンイノベーション、知財管理、人材育成等を一体的に実施。それにより最先端の量子生命技術の開発と社会実装を加速する。

官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進 17億円(13億円)

科学的にも産業的にも高い利用ニーズが見込まれ、研究力強化と生産性向上に貢献する、次世代放射光施設(軟X線向け高輝度3GeV級放射光源)について、官民地域パートナーシップによる役割分担に基づき、整備を着実に進める。

核融合関係補助金 162億円(171億円)

核融合エネルギーの実現に向け、国際約束に基づき、核融合実験炉の建設・運転を通じて科学的・技術的実現可能性を実証するITER計画及び発電実証に向けた先進的研究開発を国内で行う幅広いアプローチ(BA)活動等を計画的かつ着実に実施する。

合計 398億円(402億円)

<参考> 令和元年度補正予算案

102億円

- | | |
|------------------------------|------|
| ・ 量子生命科学拠点形成 | 33億円 |
| ・ 被ばく医療棟研究施設改修及び耐震改修 | 7億円 |
| ・ 官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進 | 38億円 |
| ・ 核融合関係補助金 | 24億円 |